# これからの牛群検定情報活用

一 今、乳検で出来ること!! ー



公益社団法人**北海道酪農検定検査協会** 乳牛検定部 荒 井 義 久 1. 北海道における牛群検定(乳検)の現状

## 北海道の現状 (その1)

- 検定組合の組織 (平成27年12月末現在)
  - 98組合
  - 検定員 448名(男性:336名、女性112名)平均年齢 47歳
  - ▶ 検定員立会平均回数 141回/年 (男性129回、女性177回)
- 検定組合軽費 (平成2 6年度実績から)

▶ 検定組合総額 : 1,532百万円

検定農家軽費338千円/年(地区 442~186千円)

▶ 検定農家負担費□ 199千円/年(地区 256~ 84千円)

検定農家月額負担費 : 16千円/月



## 北海道の現状 (その2)

■ 規模・普及率 (平成27年12月末現在: 検定戸数の割合は生乳出荷戸数に対して)

検定戸数 : 4,397 戸(普及率73.7%) 5,964戸

**• 検定頭数** : 347,170 頭(普及率75.5%)459,700頭

■ AT検定法 : 3,799戸 普及率 86.4%

### ■ 年間検定成績 (H26年1~12月)

戸数: 4,449 戸 (4,561 戸)

乳量: 9,088 kg (9,105 kg)

乳脂肪率4.02%4.03%

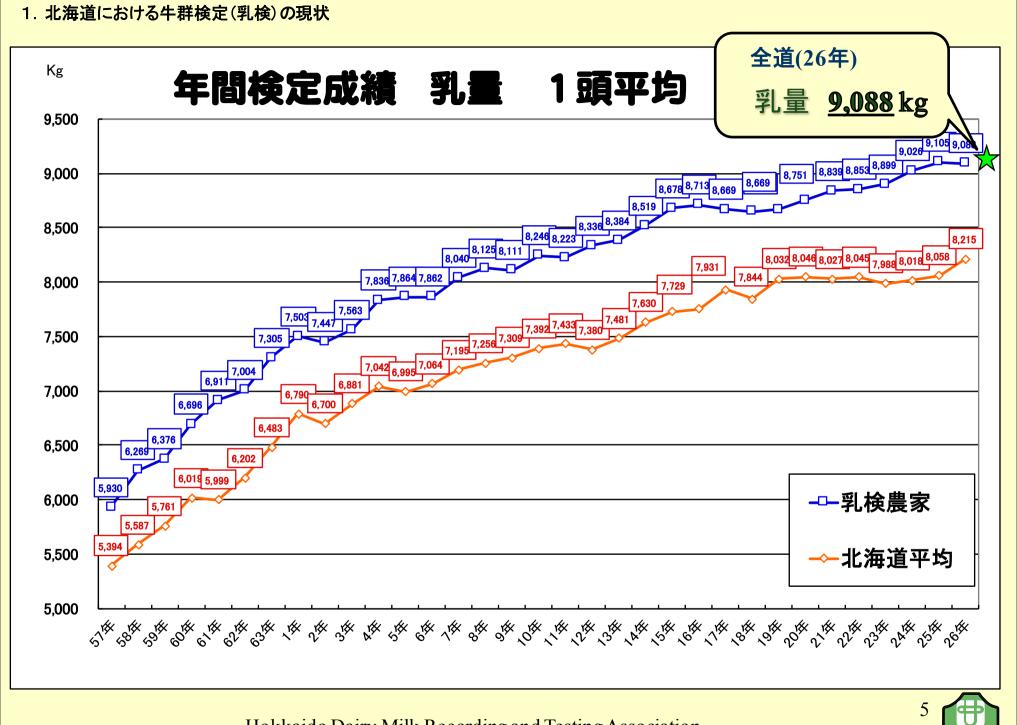
**蛋白質率** : 3.32% (3.32%)

無脂固形分率8.81%(8.80%)

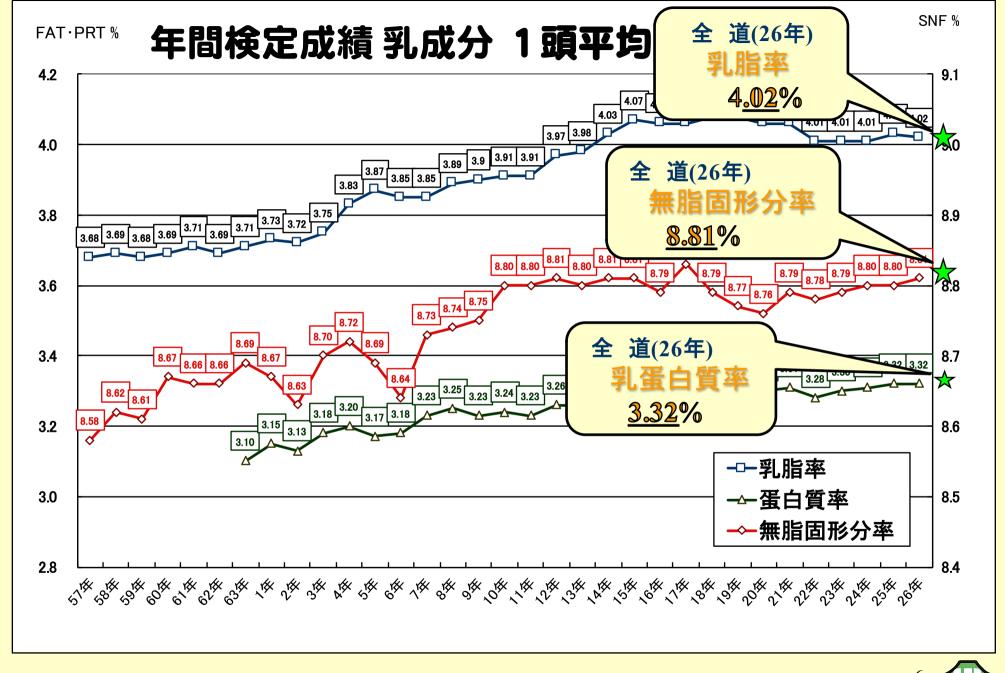
■ 体細胞数 : 21.3万/ml(21.8万/ml)

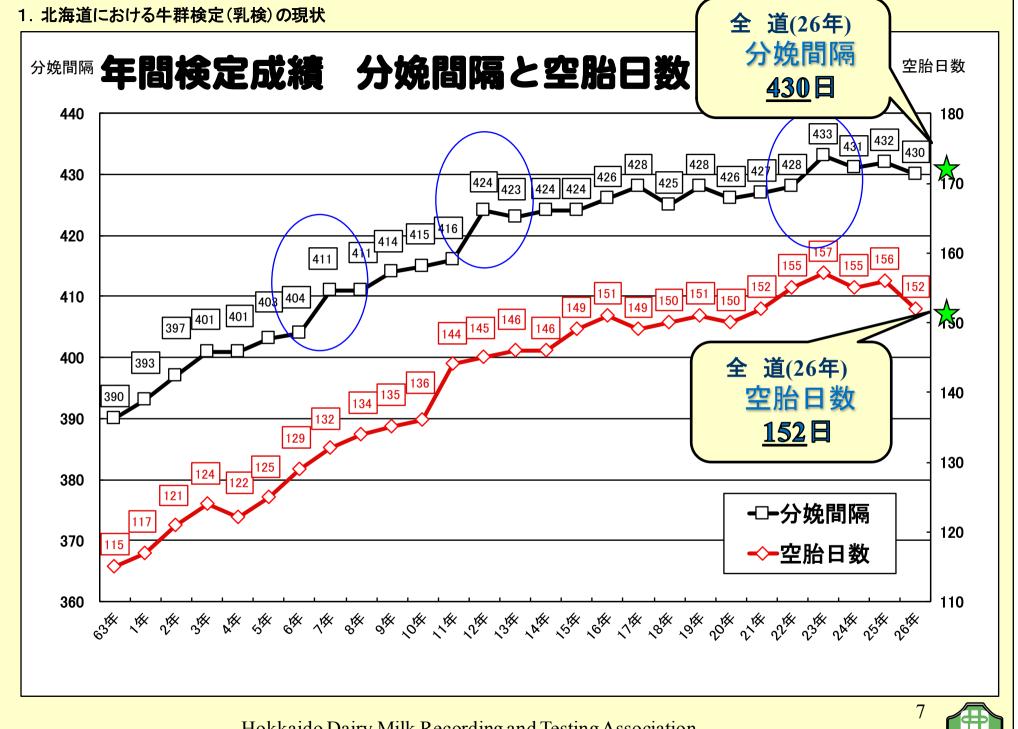
- 分娩間隔 : 430日 (432日)

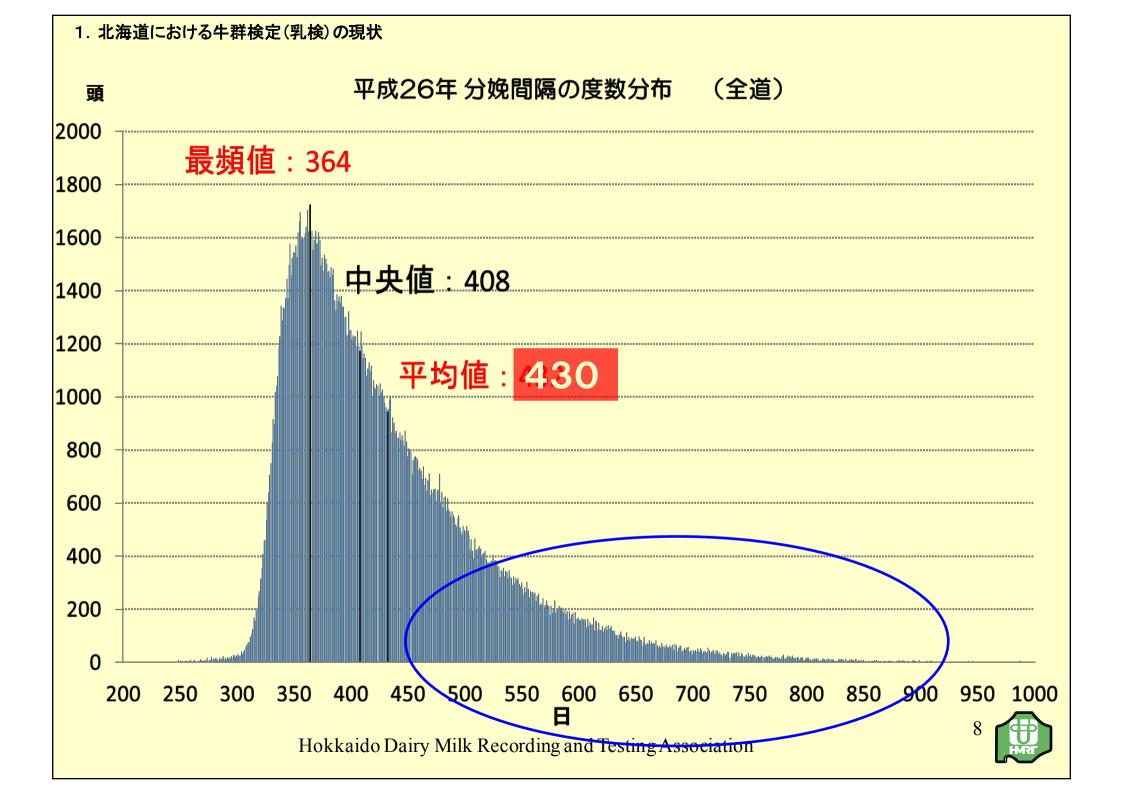
#### 1. 北海道における牛群検定(乳検)の現状 普及率% 牛群検定戸数の推移 戸数 26,000 80 ━普及率 23,270 24.000 70 **☆**成畜飼養戸数 22,000 ◆牛群検定実施戸数 20,000 60 18.000 全道(26年) 15,800 16,000 14.800 14.500 乳検戸数 50 4,449戸 13,200 14,000 12.200 11,100 12,000 10,200 40 9,850 10.000 7,838 18.000 30 6,000 4,000 2.000 44.8 50.6 53.0 55.3 59.3 59.6 59.0 59.1 |67.7 |68.4 68.7 69 69.6 68. 69.1



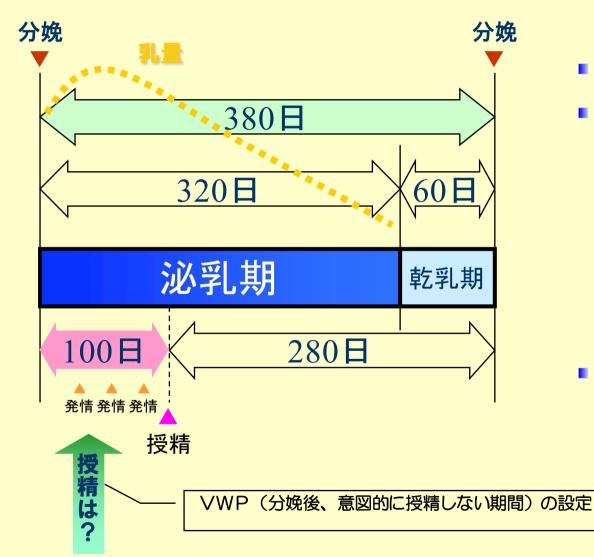
### 1. 北海道における牛群検定(乳検)の現状







## 分娩間隔・搾乳日数を適切にするためには



- 分娩間隔が380日で
- 乾乳日数を60日に設定

搾乳日数:320日

380-60=320日

V

V

授精~分娩:280日

分娩後初回授精

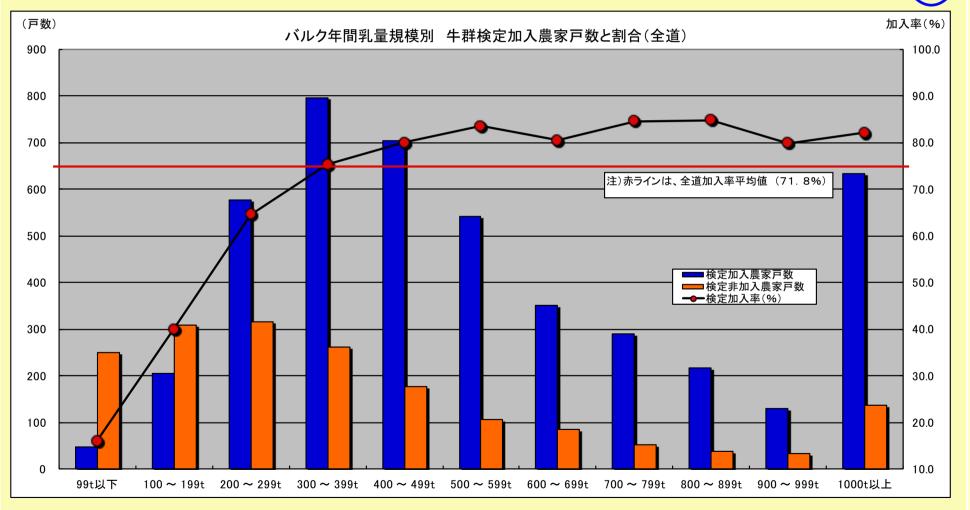
目標:85~115日



### 1. 北海道における牛群検定(乳検)の現状

### 平成26年度 バルク乳年間乳量規模別牛群検定加入数と割合(全道)

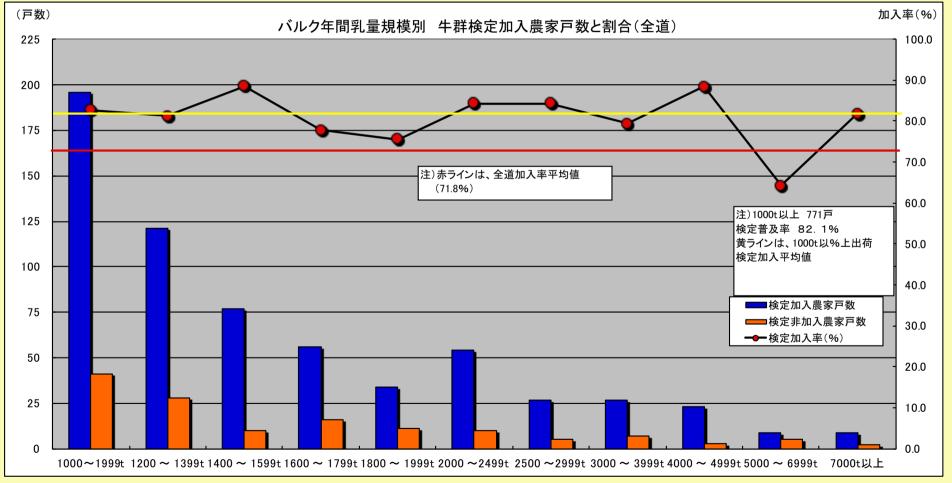
戸数	合計	99t以下	100 ~ 199t	200 ~ 299t	300 ~ 399t	400 ~ 499t	500 ~ 599t	600 ~ 699t	700 ~ 799t	800 ~ 899t	900 ~ 999t	000t以上
検定加入農家数	4,497	48	206	576	797	705	541	351	291	218	131	633
検定非加入農家数	1,769	251	309	316	262	176	107	85	53	39	33	138
生乳出荷戸数	6,266	299	515	892	1,059	881	648	436	344	257	164	771
検定加入(比率%)	71.8	16.1	40.0	64.6	75.3	80.0	83.5	80.5	84.6	84.8	79.9	82.1
検定非加入(比率 %)	28.2	83.9	60.0	35.4	24.7	20.0	16.5	19.5	15.4	15.2	20.1	17.9



### 1. 北海道における牛群検定(乳検)の現状

### 平成26年度 バルク乳年間乳量規模別(1000t以上)牛群検定加入数と割合(全道)

戸数	合計	1000~1999t	1200 ~ 1399t	1400 ~ 1599t	1600 ~ 1799t	1800 ~ 1999t	2000 ~2499t	2500 ~2999t	3000 ~ 3999t	4000 ~ 4999t	5000 ~ 6999t	7000t以上
検定加入農家数	633	196	121	77	56	34	54	27	27	23	9	9
検定非加入農家数	138	41	28	10	16	11	10	5	7	3	5	2
生乳出荷戸数	771	237	149	87	72	45	64	32	34	26	14	11
検定加入(比率%)	82.1	82.7	81.2	88.5	77.8	75.6	84.4	84.4	79.4	88.5	64.3	81.8
検定非加入(比率 %)	17.9	17.3	18.8	11.5	22.2	24.4	15.6	15.6	20.6	11.5	35.7	18.2



## 検 定 方 法

### ▶検定立会

- A4検定
  - ■毎月1回、夕・朝(1日間)の検定立会を実施
- A T 検定
  - 2回搾乳・3回搾乳に限る
  - 夕・朝の搾乳を毎月交互に立会
  - ■検定精度を保つための条件あり

### ■自家検定

- ■検定実施農家自身が、自ら飼養する検定牛を、自らの責任において検定を実施
- ■検定員の指導が必要

### ■自動検定

- ■搾乳ロボット
- ■検定員が検定



## 1. AT検定法とは?

### 従来のA4検定は 毎月 夜 と 朝の両方を立会

簡易化·効率化

毎月交互に 夜 か 朝 を立会し、1日分の 乳量と乳成分を推定 する検定

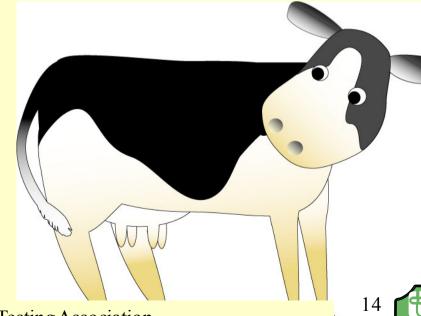
## 1. AT検定法とは?

### メリット

- 1. 検定による農家の煩わしさ、搾乳中のストレス軽減
- 2. 組合運営経費(コスト)の削減
- 3. 検定員の確保

### デメリット

- 1. 検定成績の精度低下
- 2. 開始時の自己負担
- 3. 実施要件の遵守



## 2. 検定農家の要件

- 1. 経産牛全頭が牛群検定に加入
- 2. 牛群全てAT法で立会
- 3. 生乳出荷量、自家消費量を正確に報告 (検定乳量との比率が±10%の範囲にあること)
- 4. 搾乳回数が2回、午前午後をまたがない事 (3回搾乳牛群でのAT検定法は、別途実施要件有り)
- 5. 通年的に夜朝交互の立会
- 6. 搾乳間隔の許容範囲内で立会できること
- 7. 毎日の搾乳間隔が安定していること
- 8. 搾乳時刻記録タイマーの設置

### 2. 検定方法の多様化

## 正しい検定業務を行うために!!





Hokkaido Dairy Milk Recording and Testing Association

# 正しい検定立会作業

- ■ミルクメーターの取扱い
  - メンテナンス、洗浄、立会時の確認など
- ■乳量の読み取り
  - 読み取り方法、角度など

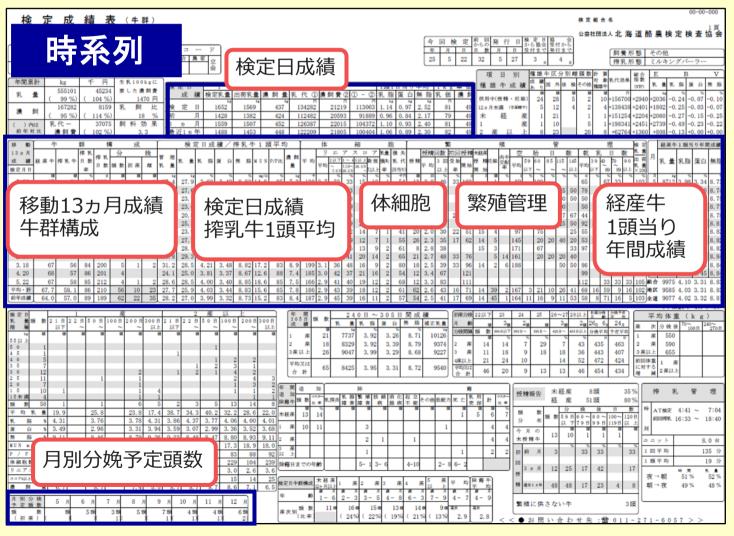


- ■サンプル採取
  - 機種による違い、攪拌、採取法など

3. 牛群検定(乳検)データの変革

# 検定成績妻(牛群成績)

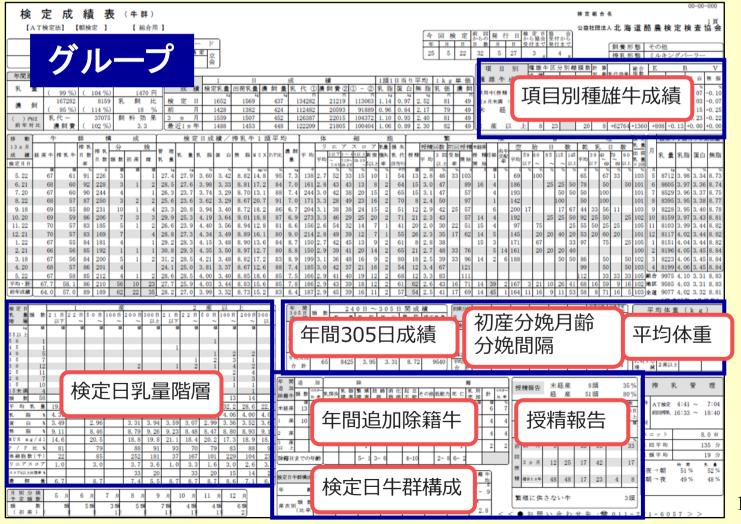
### 時系列の整理:1年間の傾向は・・・・

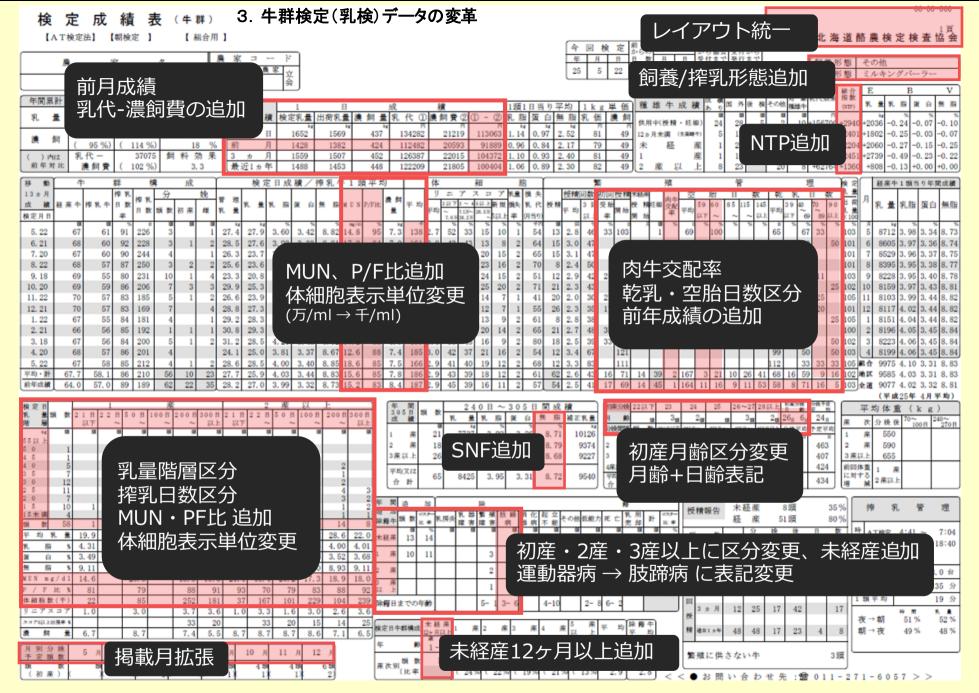


3. 牛群検定(乳検)データの変革

# 検定成績喪(牛群成績)

### グループの整理:管理、方針の結果は・・・・





### 平成25年11月より検定成績表(牛群)新レイアウトへ変更



# 牛群検定の役割

生産性の高い効率的な酪農経営の確立

### 生産管理

酪農経営原則を 生かす

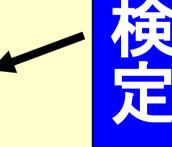
# **集**

### 牛群改良

乳牛に経済価値 を求める

### 利益管理

コストをコントロールする



### 経済検定

乳牛の機能障害を防止する



## 乳検データを活かす

### 酪農経営の損失 は目に見えにくい…



乳 質 によるロス

1 廃棄乳、治療代、乳量の損失、淘汰



繁 殖 によるロス

2 空胎日数の延長、淘汰



疾 病 によるロス

3周産期疾病の多発、廃用



低能力 によるロス



### 検定成績で損失を防ぎ、生産性の向上を!

# 乳検データの活用

- 乳検データとは
  - ■個々の能力を総合的に評価できる道具
  - ■問題点の発見のための道具
  - 実施に対する確認材料 (やったことは正しかったのか?)
  - 未来予測

3. 牛群検定(乳検)データの変革

# 検定成績結果を基に 組み立てを考える

検定成績

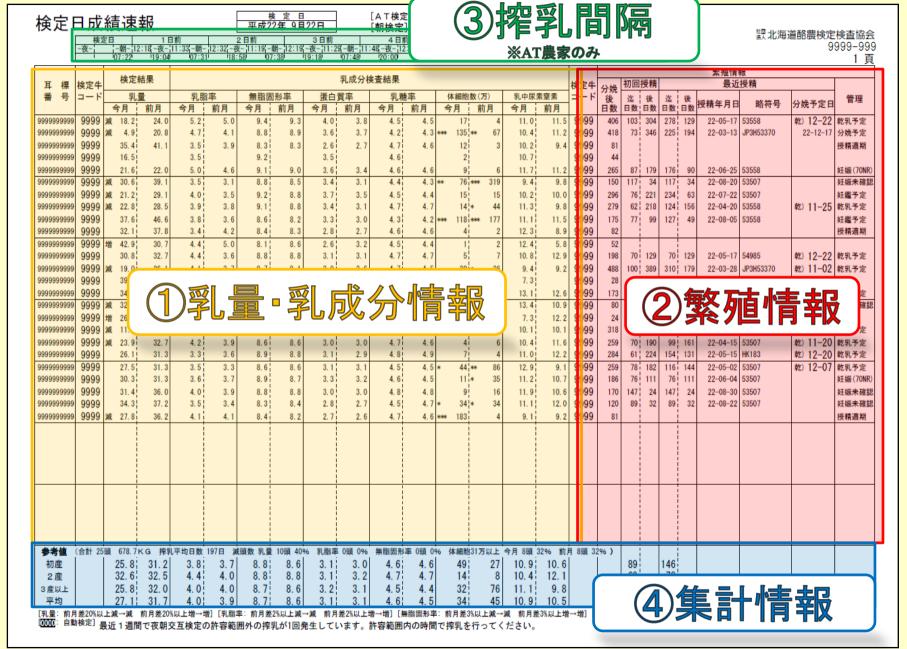
過去の出来事の結果

将来の飼養管理 の指針を示す 総合基礎情報

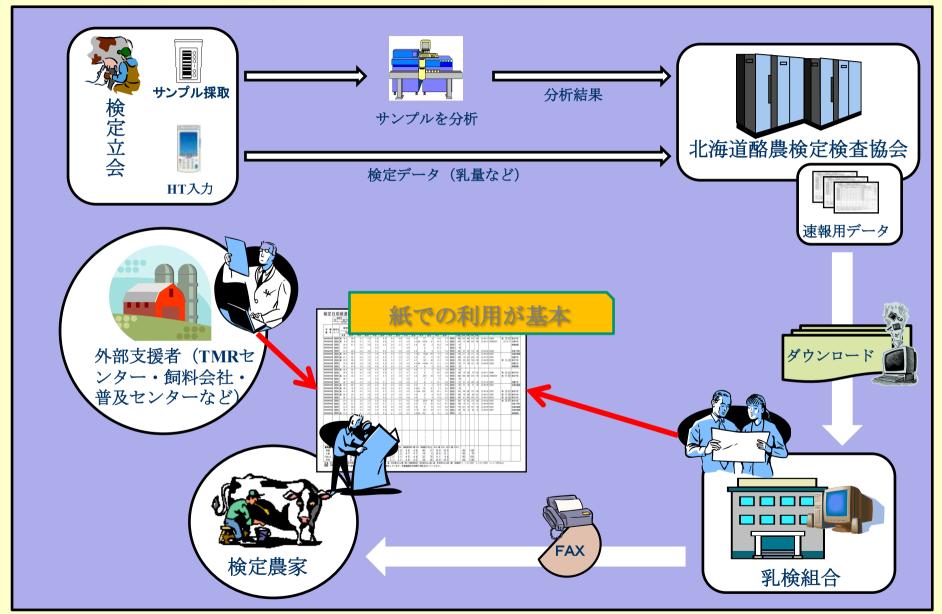


### 3. 牛群検定(乳検)データの変革

### 検定日成績速報とは?

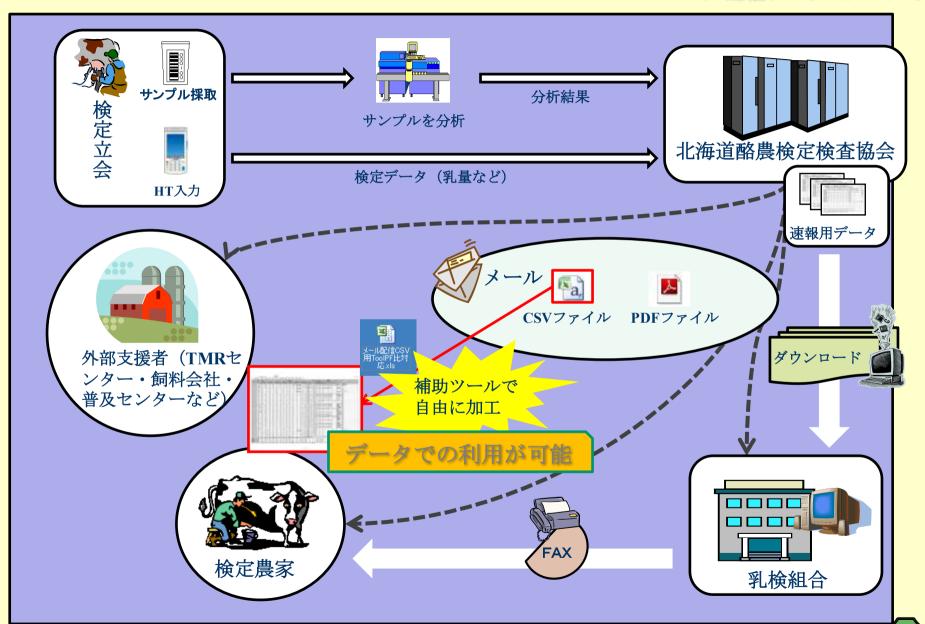


### 従来の速報システムの流れ



### 検定日速報メール配信システムの流れ(H18~)

メール配信システムについて



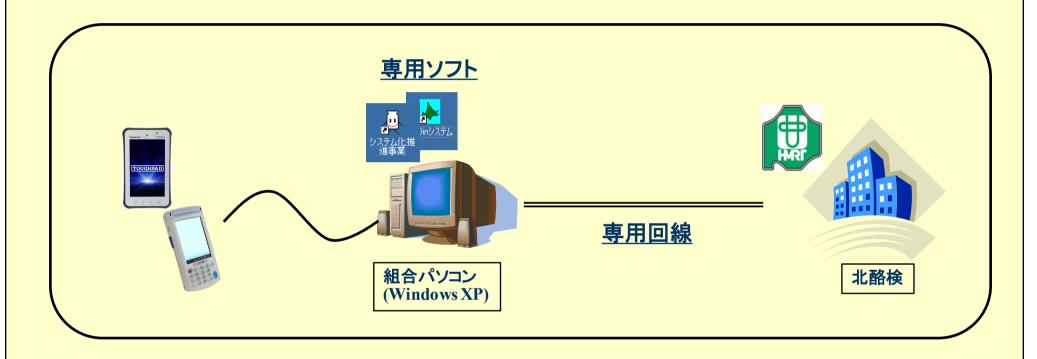
# 牛群検定Webシステムとは?

- 専用の組合パソコンで行っていた検定業務や成績表の閲覧・印刷などを、インターネットを通して行うためのシステムです。
- インターネットに繋がるパソコンが必要です。
- 組合パソコンを使用しなくても 検定業務ができます。
- ・ 検定農家の方も利用できます。





### 検定データの送受信 (Webシステムを使用しない場合)



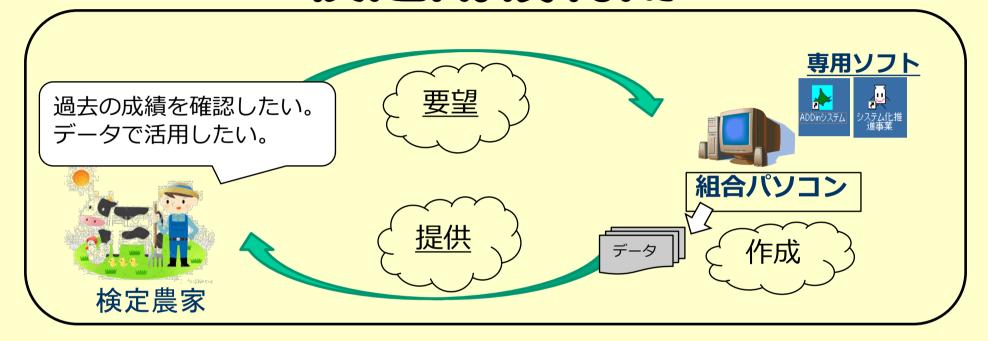
- 検定パソコン(Windows XP)でのみ検定業務可能
  - → パソコンが故障すると検定業務が止まってしまう。
- → WindowsXPのサポート終了





3. 牛群検定(乳検)データの変革

# 牛群Webシステムを使わない 検定成績利用



### • 検定データはすべて検定組合パソコンに蓄積

- → 組合パソコンの前に行かないと操作できない(=検定組合・連合会に依頼が必要)
  - すぐに利用できない。気軽に確認できない。

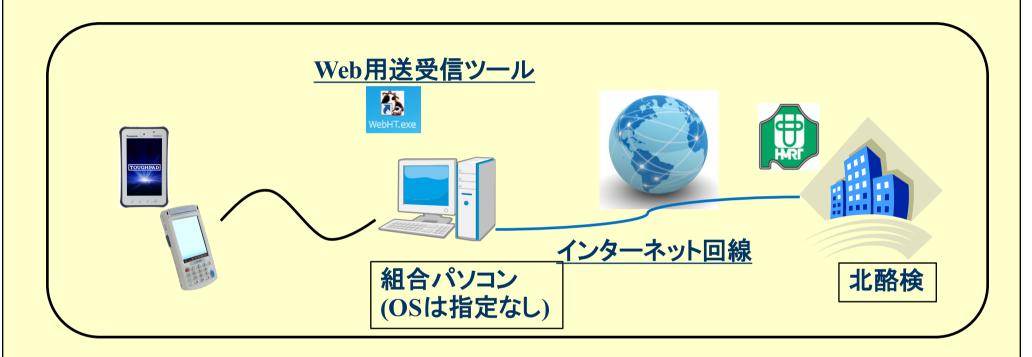








### 検定データの送受信 (Webシステムを使用する場合)

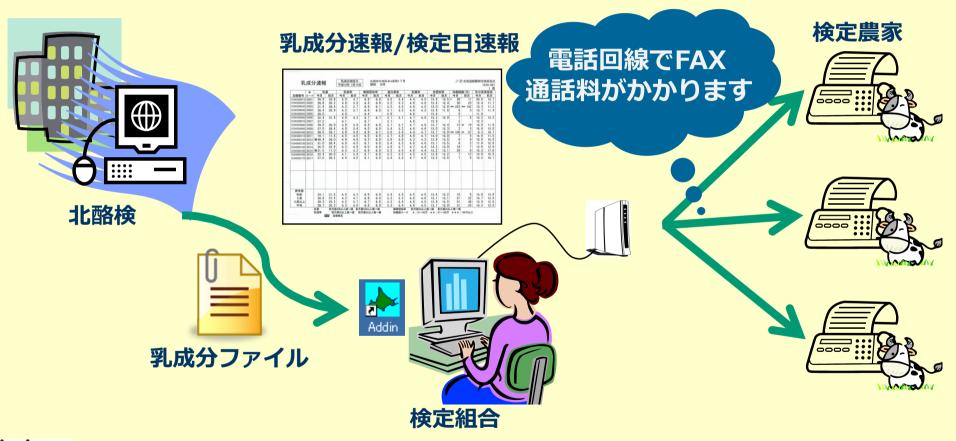


- インターネットに繋がるパソコンがあれば検定業務可能
- → WindowsのOSに指定はないので、新しいパソコンで安全に使用できる。
- → パソコンが故障しても、別のパソコンをインターネットに繋げば検定業務継続。

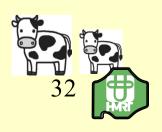




### 今までの流れ (組合パソコンで受信・自動FAX)

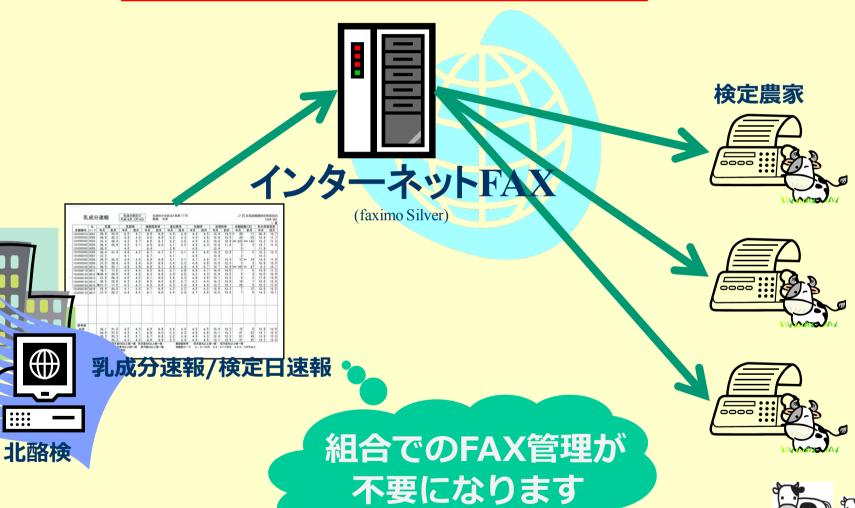






## 牛群検定Webシステム切り替え後の流れ

(インターネットFAX使用)

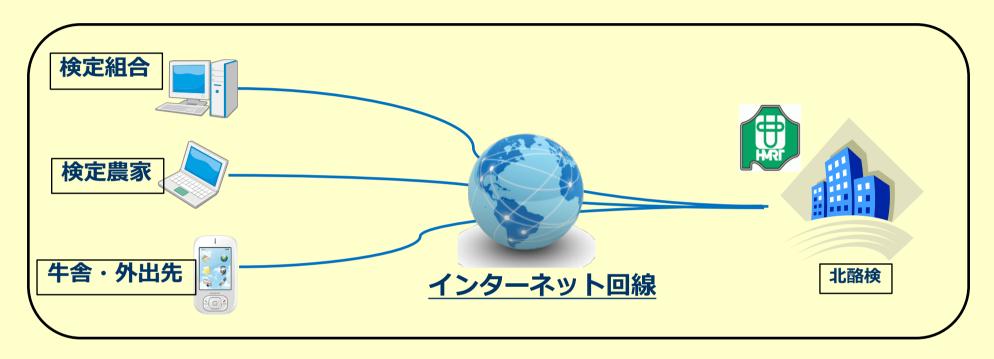






Hokkaido Dairy Milk Recording and Testing Association

## 牛群Webシステムを使った検定成績利用



- ・ 検定農家・外出先でもインターネットで検定成績を確認可能
  - → 組合パソコンの近くにいなくても、検定成績を利用できる。
  - → 自由な時間に何度でも確認できる。







3. 牛群検定(乳検)データの変革

## 牛群検定Webシステム 3つの使い方

### ①送受信ツール



ハンディターミナルとの送受信を行う(検定組合)

## ②PC版 牛群検定Webシステム 📲 🥔





パソコンを使って、成績表やデータの検索・ダウンロード(検定組合・検定農家)

## ③モバイル版 牛群検定Webシステム



スマートフォン・タブレットを使って、検定成績やデータの検索・ダウンロード (検定組合・検定農家)



# 乳検データの活用

- 乳検データとは
  - 個々の能力を総合的に評価できる道具
  - 問題点の発見のための道具
  - 実施に対する確認材料 (やったことは正しかったのか?)
  - 未来予測

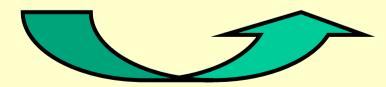
3. 牛群検定(乳検)データの変革

# 検定成績結果を基に 組み立てを考える

検定成績

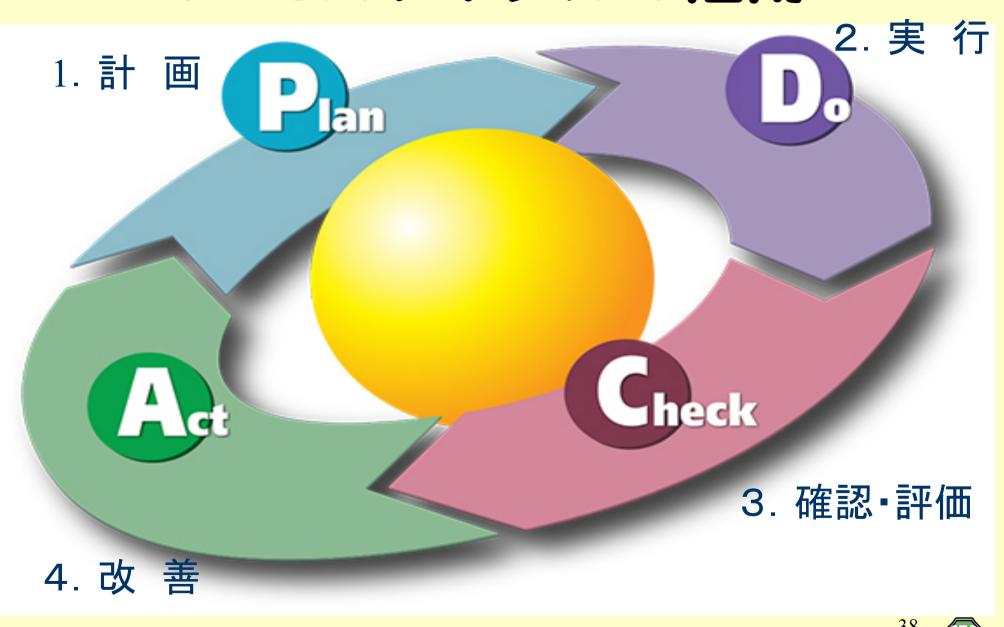
過去の出来事の結果

将来の飼養管理 の指針を示す 総合基礎情報



3. 牛群検定(乳検)データの変革

# PDCAサイクルの活用



### PDCAサイクルのための土台

- 1. 環 境

  - 5 S · 整理
    - 整頓
    - 清掃
    - 清潔
    - 躾
- 2. マインド 付加価値 牛群検定WebシステムDLへ

### 今後、更に広がる情報活用!



検定日速報のメール配信

中群検定WEBシステム、モバイル版 牛群検定WebシステムDL(ディーエル)







# 検定農家・検定組合

プラス 外部支援者

(農家同意必要)

Hokkaido Dairy Milk Recording and Testing Association



### 1. 繁殖管理ツール



### 繁殖記録のリアルタイム化





利用記録 · · · 検定記録 全国DB 生産者の報告



データ更新・・・・最新~次回検定日の間も 随時反映



**■ 見せ方は? ✓ 「当日の繁殖イベント」** 

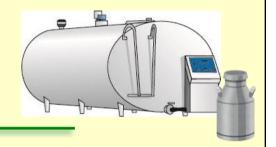
- **繁殖ステージ別の個体リスト**(未授精・授精中・妊確牛など)
- **✓** カレンダー(週間・月間)



### 2. バルク乳情報 との結合



# バルク乳成績の反映/利用-定期検査、トレースデータ・





利用方法 / 乳成分・出荷乳量 の閲覧、ダウンロード

**→** 乳成分の推移グラフ、乳検との関連グラフ

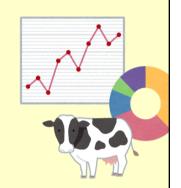
✓ 廃棄頭数、個体平均乳量(出荷日ごと)の管理

### 3. 情報のビジュアル化



### 情報のグラフ表示機能

- 経営損失の 見える化 -



### 何を見せる?



総合グラフ

牛産グラフ

乳質グラフ

繁殖グラフ

疾病グラフ

バルク乳成分

個体検定日グラフ

✓ 乳検・バルクに関する グラフと解説



#### 利用方法は?

- ✔「総合グラフ」で 農場の位置づけ、課題発見
- ✓ 課題を見つけ、「知りたい」「見せたい」グラフを選択



# 総合グラフ

	家名: 北酪 検太郎 家コード:999999	←要改善	中央値	成績民	見好→	農場	全道	チェックポイント
	経産牛1頭あたり年間乳量					9738	9014	出荷量に関係、能力・繁殖成績が影響
生	305日間補正乳量(初 産)					11404		成牛換算値、初産の能力・管理指標
産	305日間補正乳量(2産以上)					10325	10151	成牛換算値、2産以上の能力・管理指標
/	在籍1日1頭あたり乳代収入					1302	1203	総乳代/出生後日数(過去2年の除籍牛)
	バルク体細胞数(千/ml)					221	193	バルクの加重平均値(過去1年)
乳	バルク体細胞/検定体細胞(比率)	<b>6</b>				76	89	出荷・廃棄の状況を推察(全牛検定時)
	リニアスコア2以下(比率)					35	53	乳房の健康な牛の比率
質	1頭あたり乳房炎損失(頭/月)					1679	1131	乳房炎で低下した泌乳量×乳価(円)
	除籍理由「乳房炎」の比率							乳房炎で淘汰した牛比率(過去1年の除籍)
	空胎日数					134	152	受胎に要した日数平均(受胎牛のみ)
	200日以上 空胎割合					42	21	長期不受胎牛の割合(空胎日数の集計外)
	100日以上 未授精割合					19	7	不受胎牛のうち、授精できない牛の割合
繁	妊 娠 率					14	17	発情発見率×受胎率で計算する指標
	発情発見率					42	41	授精回数÷理論上の発情周期の数
殖	初回授精受胎率					27	31	繁殖機能の回復、授精開始時期が影響
	2回目以降受胎率					21	25	授精タイミング、栄養充足などが影響
	初回授精開始日数					81	88	初回受胎率と併せ、空胎日数への影響大
	初産分娩月齢					23	25	未経産の繁殖管理、育成技術の指標
	除籍率(乳用売却を除く)					11	20	生産効率の低下要因、除籍理由を確認
疾	分娩後60日内の死廃率					0.0	6.0	周産期トラブルの発生状況を示す
疾病関連	死産 発生率					13. 8	5. 6	牛群の産乳量、産子数の低下に繋がる
連	50日以内_乳脂率5%以上(%)					9	9	分娩前後の体脂肪動員が顕著な牛比率
	100日以内_乳蛋白率2.8%以下(%)			F		13	16	泌乳前期に栄養充足が低い牛の比率
								28年01月検定

平成 25 年度牛群検定システム高度化支援事業 型 田井 野社会 フィーキャルト ブレス 主義 アナト ちょ

乳用牛群検定に参加している未経産牛を対象に

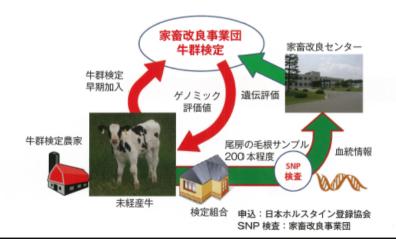
### ゲノミック評価が 始まりました!

一般社団法人 家畜改良事業団

牛群検定に参加している未経産牛の毛根を検査することで得られる遺伝子情報を用いた、遺伝的能力評価(ゲノミック評価)が始まりました。この技術は、未経産牛について、これまでのPA(後述)より信頼度の高い遺伝情報を早期に推計できるようにする世界的にも注目される最新のテクノロジーです。

#### ゲノミック評価の流れ

ゲノミック評価は、尾房部の毛根を採取し、検査するところから始まります。 その検査は SNP (スニップ) 検査と呼ばれ、日本ホルスタイン登録協会の支部または承 認団体で受け付けます。その後、毛根は家畜改良事業団で検査され、家畜改良センターで ゲノミック評価を行った後に、結果は牛群検定の遺伝情報として検定農家に返されます。



#### 酪農家でのゲノミック評価の活用

#### (1) 総合指数 (NTP) による遺伝的改良

ゲノミック評価では総合指数が推計されます。 総合指数は泌乳能力、乳器や肢蹄といった体型、 そして体細胞数を総合的に改良するための指数で すので、長命性を含めて効率的かつバランスの良 い遺伝的改良を行うことができます。







産乳成分

久醛成分 茶鄉

(2) 未経産牛の遺伝情報の精度向上

牛群検定では、未経産牛の遺伝評価値は、従来、両親の遺伝的能力の平均(PA)を牛群改 良参考情報として提供してきました。ゲノミック評価では、PA より信頼度の高い遺伝情報を 早期に推計できることから、未経産牛を使った効率の良い改良を行うことができ、改良速度も 高まることが期待できます。

なお、1 頭 1 頭の SNP 情報が遺伝評価に反映されることから、受精卵移植等で生産された 全姉妹も、その遺伝的能力の違いを推定することができます。

#### (3) 未経産牛での具体的な活用例

#### ①未経産牛の選択的利用(後継牛生産か?付加価値生産か?)

未経産牛への交配では交雑種生産が行われることが多くなって います。ゲノミック評価を利用することで、未経産牛の段階から 雌牛を選択的に利用することが可能となり、後継牛生産や交雑種 生産、受精卵移植などが計画的な使い分けができるようになりま す。



#### ②性選別精液の利用

後継牛の生産には性選別精液を用いることが効率的です。 ゲノミック評価値により遺伝的に優秀な未経産牛を選定し、性選 別精液により後継牛生産を行えば、最も効率的と言えます。 また、未経産牛に性選別精液を交配することは、受胎率の点でも 推奨されます。

#### ③検定未実施農家からの導入牛

牛群検定を行っていない農家から血統登録された雌牛を購入した際にも、ゲノミック評価により早期に遺伝的能力を推定できます。



#### 

#### 毛根の採取

日本ホルスタイン登録協会 の支部または承認団体

①申し込み

#### ②尾房部をブラシがけする ゴミや古い毛を取り除く







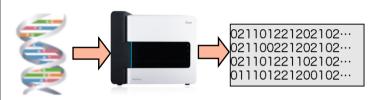






### ゲノミック評価とは

### SNP検査



DNA抽出 読み取り

SNP情報

### SNP効果予測式

材料:

リファレンス集団の

- ①従来の遺伝評価値
- ②SNP情報

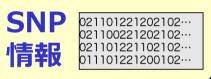




ヤングブル・未経産

従来の評価値

予測値



SNP効果 予測式

直接推定ゲノム価

結合

従来は

PA (両親平均)







Hokkaido Dairy Milk Recording and Testing Association

### 従来の後代検定事業

	候補種雄牛	後 検 娘 牛 生産用雌牛	後代検定娘牛
1年目	計画交配		
	誕生		
2年目	予備選抜		
	採 精 (凍結精液の作成)		
3年目		調整交配	
4年日		分娩	誕生/育成
4年目			血統登録
5年目	待機期間		授精
			分娩
6年目			牛群検定
			体型審査
7年日	遺伝評価値の公表		
7年目	種雄牛の選抜		

### ゲノミック選抜

	候補種雄牛
1年目	計画交配
	誕生
2年目	ゲノミック評価
	採 精 (凍結精液の作成)

### 後代検定との比較

- ① 成績判明までの 期間が大幅に短縮
- ② 信頼度は低下



## 雌牛SNPデータの活用



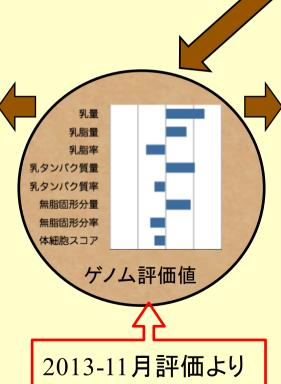
#### 優秀な雌牛



#### 育種改良の資源

- 供卵牛
- 0
- ・計画交配(種雄牛の作出)
- •個体販売
- ・計画的なデータ採取 計測が難しかった未測定の形質 新しい形質の遺伝評価

遺伝的改良の促進



2013-11月評価より 新たに公表 (GPI,GNTP)



#### 通常の雌牛



#### 生乳生産を担う雌牛

- ・選抜淘汰(個体販売)の判断材料
- ・後継雌牛の生産(交配種雄牛の推奨)
- ・ゲノム近交係数による近交抑制

酪農経営の向上

10

# ゲノミック評価のメリットと課題

- 評価精度の向上
   ヤングサイアー、全きょうだい、雌牛
   遺伝率の低い形質(長命性、繁殖性、等)
- 受精卵、誕生直後でも評価可能
- ・ 国内評価値とDNA型を関連付ける
  - ⇒ 評価国により同じDNA型でも異なる値
- ・ 現状、ゲノミック評価値の信頼度は高くない
  - ⇒ 後代検定に代わるものではない

### 評価値の信頼度

両親平均(PA) くゲノミック評価 く後代検定

Hokkaido Dairy Milk Recording and Testing Association

#### 平成27年度 SNP検査用サンプル収集対象頭数

	Ī	配分頭数	数	i	計画頭数	数	実力	拖見 込(	長 終)	毛根サンプル受付集計(12月22日時点)				
地区別	後検 娘牛	同世 代牛	計	後検 娘牛	同世 代牛	計	後検 娘牛	同世 代牛	計	後検 娘牛	同世 代牛	計	実施率 %	
	©£7	○印・無印		©£7	○印・無印		〇印	○印・無印	(A)	©£7	○印・無印	(B)	(B)/(A)	
石 狩	106	106	212	106	106	212	106	114	220	110	116	226	102.7	
空 知	30	30	60	30	30	60	39	52	91	33	58	91	100.0	
上川	217	217	434	217	217	434	306	377	683	309	374	683	100.0	
後 志	50	50	100	50	50	100	55	45	100	49	51	100	100.0	
桧 山	20	20	40	20	20	40	24	10	34	13	7	20	58.8	
渡島	122	122	244	122	122	244	121	122	243	125	122	247	101.6	
胆 振	53	53	106	53	53	106	53	115	168	53	113	166	98.8	
日高	102	102	204	102	102	204	115	79	194	115	79	194	100.0	
十 勝	1,888	1,888	3,776	1,888	1,888	3,776	2,028	1,536	3,564	2,092	1,601	3,693	103.6	
釧路	775	775	1,550	775	775	1,550	759	562	1,321	762	571	1,333	100.9	
根室	1,251	1,251	2,502	1,251	1,251	2,502	883	669	1,552	888	654	1,542	99.4	
網走	882	882	1,764	882	882	1,764	663	499	1,162	670	504	1,174	101.0	
宗 谷	345	345	690	345	345	690	377	362	739	362	372	734	99.3	
留萌	216	216	432	216	216	432	167	162	329	156	151	307	93.3	
全 道	6,057	6,057	12,114	6,057	6,057	12,114	5,696	4,704	10,400	5,737	4,773	10,510	101.1	

# ゲノミック評価値の利活用を図る勉強会9地区にて開催します!

### 講演①

「ゲノミック評価の基本と今後の活用について」

講師:一般社団法人ジェネティクス北海道

### 講演②

「ゲノミック評価に関わる最近の話題と 今後のSNP情報の活用について (研究内容等) 」

講師:北海道ホルスタイン農業協同組合

### 講演②

「今後のゲノミック評価について (研究内容等)」

講師:北海道農業研究センター



# ゲノミック評価値の利活用を図る勉強会9地区にて開催します!(13:00~)

• 2月1日(月) 釧路市 釧路農業会館 会議室

• 2月2日(火) 中標津町 根室生産連会議室

• 2月8日(月) 八雲町 JA新はこだて<sub>八雲基幹支店会議室</sub>

• 2月9日(火) 苫小牧市 日胆農業会館 会議室

• 2月12日(金) 北広島市 JA道央北広島営農センター会議室

2月17日(水) 帯広市 十勝農協連ビル 会議室

· 2月18日(木) 北見市 北見農業会館 会議室

• 2月24日(水) 豊富町 JA北宗谷 会議室

• 2月25日(木) 旭川市 上川農業会館 会議室

### 飼養形態別の戸数、経産牛頭数および 1頭当たり成績

### 表2. 飼養形態別の戸数、経産牛頭数および1頭当たり成績

飼養形態	戸数[戸] <sup>給</sup>	圣産牛頭数 [頭]	年間乳量 [kg]	平均産次	除籍産次	平均体細胞数 (千個/mL)	死産率[%]	双子率[%]	分娩間隔 [日]	初産月齢 [月]	初回授精 日数[日]	肉牛交配率 [%]
つなぎ	2,676	56	8,855	2.8	3.7	229	5.9	2.8	436	25.3	90	16.0
フリーストール	908	140	9,452	2.5	3.2	191	6.7	2.8	423	24.6	85	12.9
放牧	250	56	7,925	3.1	4.1	238	5.4	2.4	431	25.6	87	18.0
ロボット	56	115	9,800	2.5	3.3	226	6.4	3.3	424	25.1	91	11.3
合計	3,890	717	9,085	2.7	3.5	212	6.2	2.8	430	25.0	88	14.6

# FSとロボット

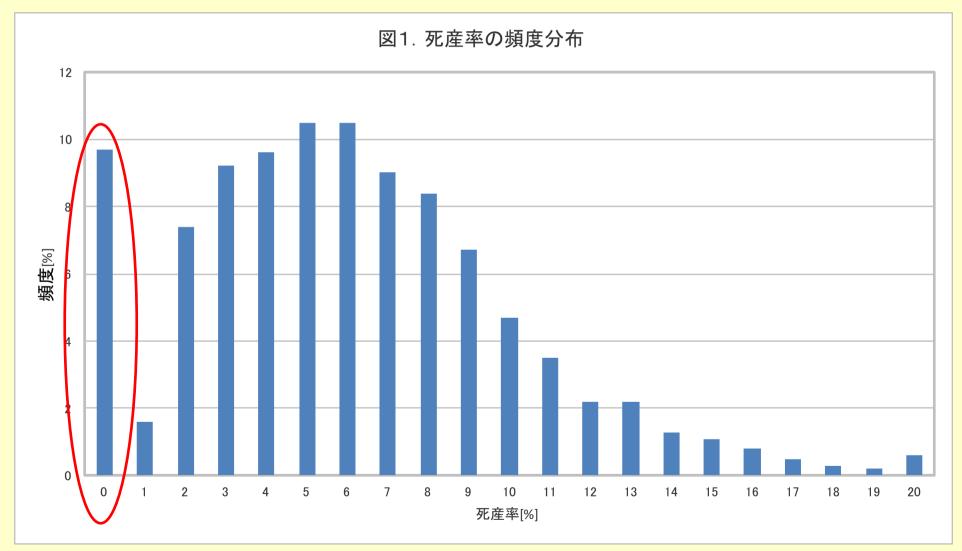
つなぎと放牧

- ・大規模経営中心
- ・年間乳量高
- 除籍產次低
- 死産率高
- 分娩間隔短
- 肉牛交配率低

- ・家族経営中心
- 年間乳量平均的 (放牧は平均より 1,000~2,000kg少ない)
- ・除籍産次高
- 死産率低
- 分娩間隔長
- 肉牛交配率高

乳牛を効率よく回転 高泌乳量維持収入確保 乳代・F1生産 収入確保 長く使用することで乳牛売却費低減

### 子牛死産率の分布 (平成25年度)



# 子牛の死産は飼養形態問わず発生

・飼養形態別の平均では

・ つ な ぎ :5.9%

• 放 牧 :5.4%

• F S : 6.7%

・ロボット:6.4%

課題明確

最大の死産率の記録はつなぎ 33.3% (FSの最高は22.2%)

### 死産率と死産率以外の成績の相関関係は

- ・死産率と平均産次
- ・死産率と除籍産次

有意な相関

(負の相関)

死産率が低下すると 平均産次・除籍産次 延 長

死産の発生は子牛死亡による損失だけではなく 母牛供用年数も低下させるため、 後継牛と生乳生産確保には大きな問題!!



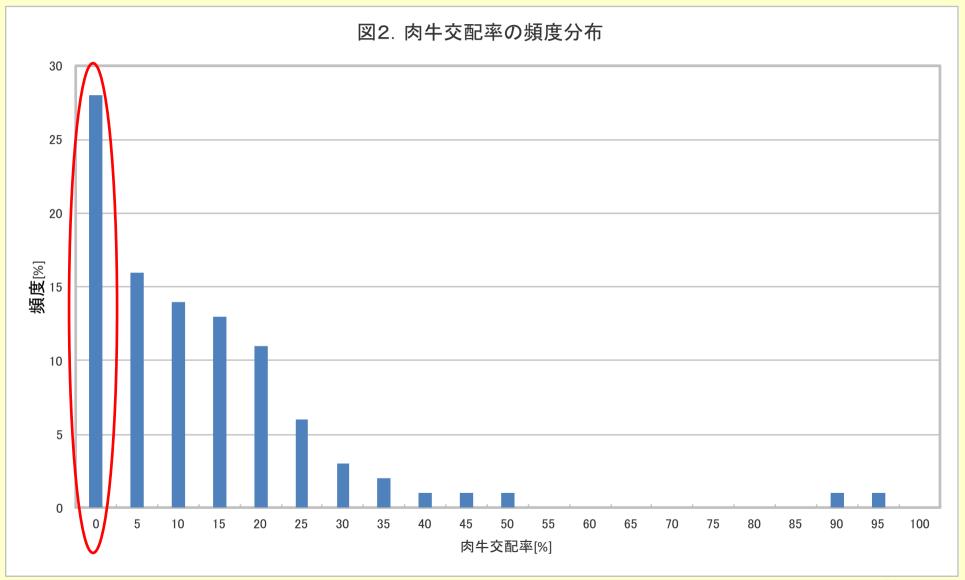
### 死産率0%の牛群と死産率20%の牛群で の経産牛頭数と1頭当たりの成績

表4. 「死産率0%の牛群」「死産率20%以上の牛群」での経産牛頭数と1頭当たり成績

	経産牛頭数 [頭]	年間乳量 [kg]	平均産次	除籍産次	平均体細胞 数(千個/mL)	死産率[%	[[	又子率[%]	Vij	娩間隔 [日]	D産月齢 [月]	初回授精日 数[日]	肉牛交配率 [%]	
死産率0%の牛群	45	8, 35	2. 9	3. 8	232	(	. 0	2.	8	437	25.	4 92	19.9	
死産率20%以上の牛群	39	8, 470	2. 6	3. 3	262	21	6	1.	8	460	24.	8 99	15.8	

分娩間隔長いのは死産の影響、繁殖機能回復遅れ後継牛生産ペースの鈍化・生産量の低下

### 肉牛交配率の分布 (平成25年度)



### 肉交配率0%の牛群と肉交配率100%の牛群 での経産牛頭数と1頭当たりの成績

表5. 「肉牛交配率0%の牛群」「肉牛交配率100%の牛群」での経産牛頭数と1頭当たり成績

	経産牛頭数 [頭]	年間乳量 [kg]	平均産次	除	## 位 // \	均体細胞 (千個/mL)	死産率[%]	双子率[%]	分娩間隔 [日]	初産月齢 [月]	初回授精日 数[日]	肉牛交配率 [%]
肉牛交配率0%の牛群	64	9, (	70 2.	5	3. 3	222	6.	6 2.7	435	25. 3	3 95	0.0
肉牛交配率100%の牛群	55	9, 0	67 3.		4.0	23	4. (	8 2.8	428	24. (	6 86	100.0

### 肉牛交配率と肉牛交配率以外の 成績の相関関係は

- ・肉牛交配率と平均産次
- ・肉牛交配率と除籍産次

有意な相関

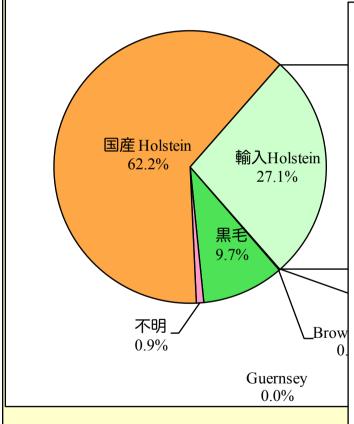
・ 肉牛交配率と死産率

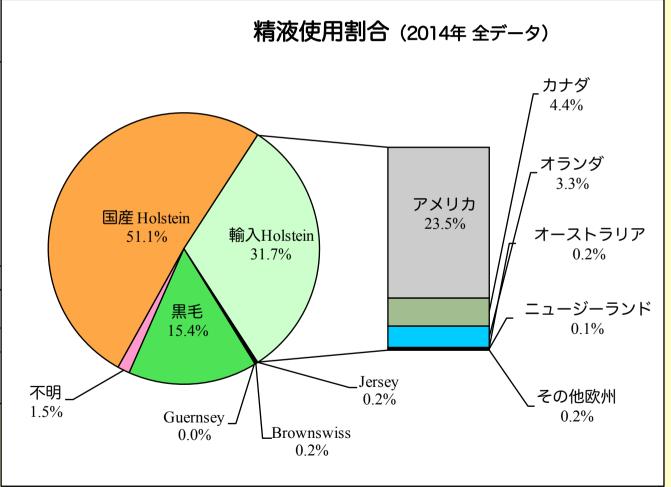
肉牛交配率は、経営方針にも 左右されるが、死産の発生少なければ 母体のダメージも少なく、供用期間延長 後継牛確保出来るため、余剰分をF₁生産へ

### 牛群検定における精液使用割合の推移

(平成17年~26年)

精液使用割合 (2005年 全データ)

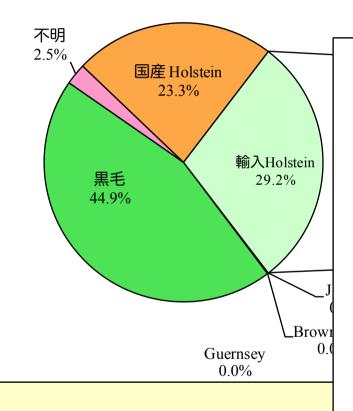




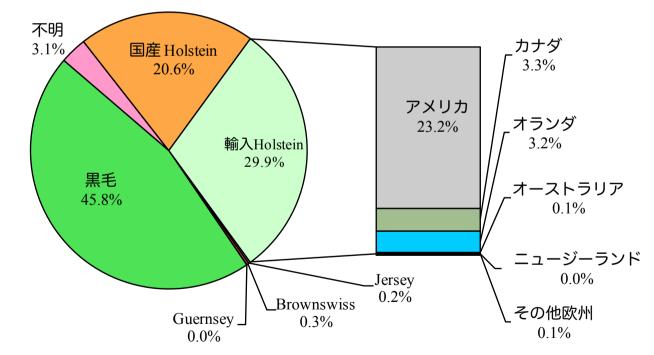
### 牛群検定における精液使用割合の推移(未経産牛)

(平成17年~26年)



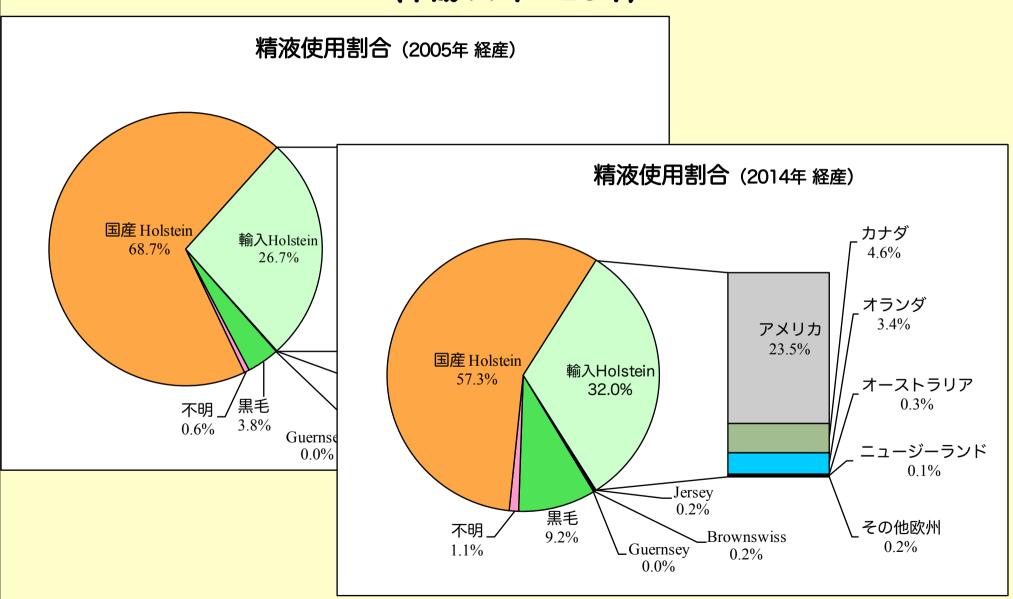


#### 精液使用割合 (2014年 未経産)



### 牛群検定における精液使用割合の推移 (経産牛)

(平成17年~26年)



### 産次・授精・品種・産子性別ごとの難産率

表6 産次・授精品種・産子性別ごとの難産率

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	_
授精品種	産子性別	難産率[%]
甲チリ州-	雌以外	8.9
<b>羔七以</b> 外	此推	3.8
甲壬 -	雌以外	6.9
<del>杰</del> 七	此推	3.8
里チいめ -	雌以外	4.9
<b>羔七以</b> 介	此推	2.4
甲壬 -	雌以外	4.5
赤七	雌	2.3
	授精品種 黒毛以外 - 黒毛以外 - 黒毛	無毛以外     雌以外       黒毛     雌以外       黒毛以外     雌以外       黒毛以外     雌以外       黒毛     雌以外

※1 雌以外とは、雄、双子、3子以上、死産を示す

※2 分娩難易コード3以上を「難産」と定義



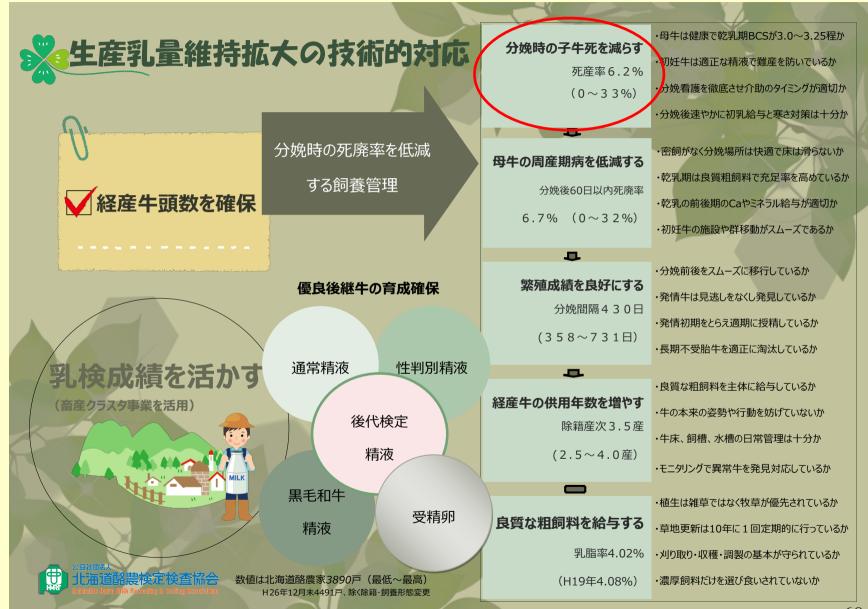
### 授精品種別難產発生状況

・乳牛雌産子よりF<sub>1</sub>の雄産子難産発生率高

授精品種より産子性別の影響強い

難産回避の目的であれば、 性選別精液の利用も有効な手段!!

### 生産乳量維持拡大のリーフレット

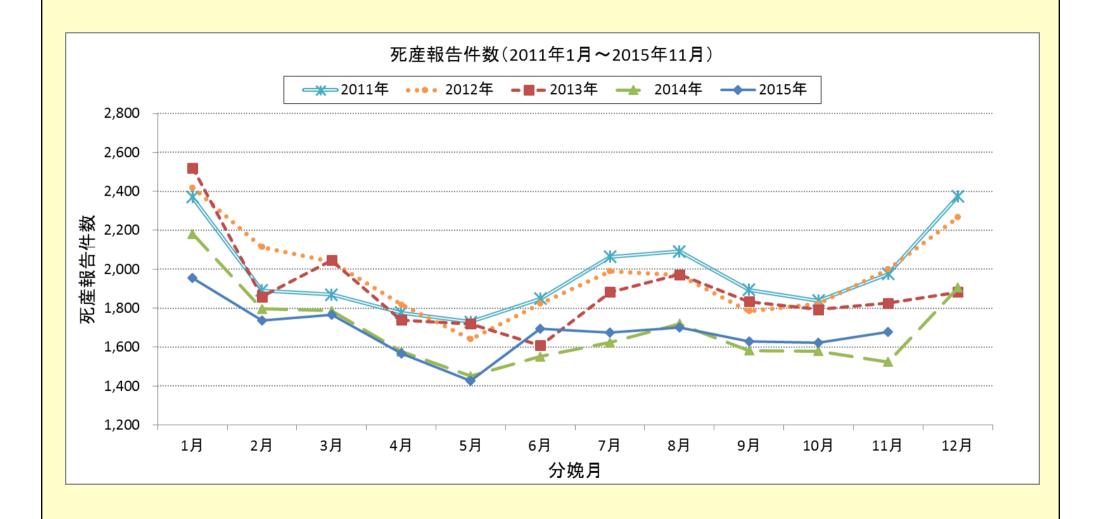


### 子牛事故低減のリーフレット

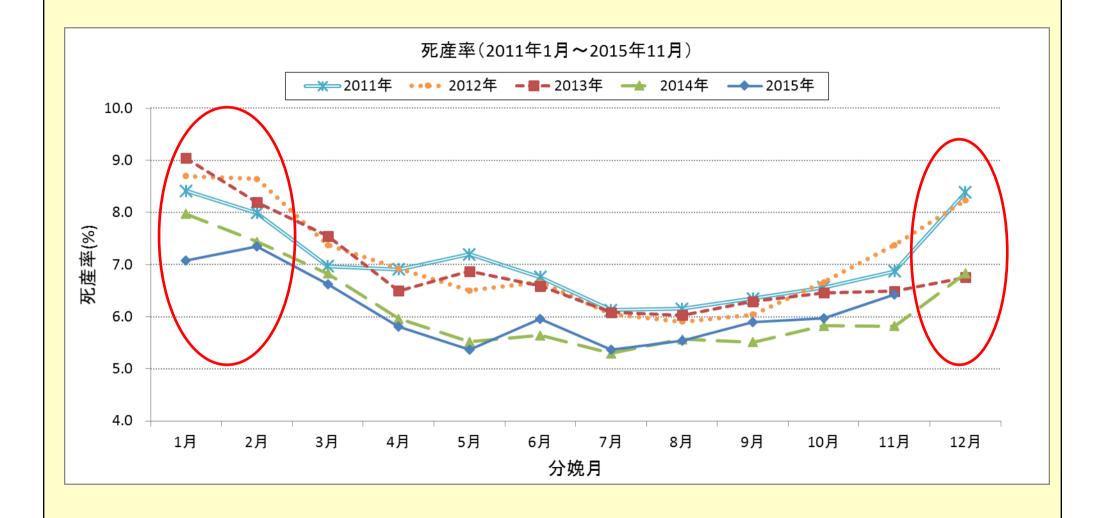




### 北海道における死産報告件数の推移



# 北海道における死産率の推移





# より若い雌牛から後継牛確保(世代間隔の短縮)性選別精液を未経産牛授精へ活用

• 難產回避、後継牛確保、遺伝的改良





ゲノミック評価の利用で未経産牛を判別

# 新しい技術の活用

性選別精液



牛群のF<sub>1</sub>の産子数維持

(未経産牛と経産牛の黒毛授精割合の調整)

生産効率の向上
可能





# 検定農家・検定組合

プラス 外部支援者

(農家同意必要)

Hokkaido Dairy Milk Recording and Testing Association



# 総合グラフ

農家名: 北酪 検太郎 農家コード:999999	←要改善	中央値	成績良	!好→	農場	全 道	チェックポイント
経産牛1頭あたり年間乳量					9738	9014	出荷量に関係、能力・繁殖成績が影響
生 305日間補正乳量(初 産)					11404	10567	成牛換算値、初産の能力・管理指標
産 305日間補正乳量(2産以上)					10325	10151	成牛換算値、2産以上の能力・管理指標
在籍1日1頭あたり乳代収入					1302	1203	総乳代/出生後日数(過去2年の除籍牛)
バルク体細胞数(千/ml)					221	193	バルクの加重平均値(過去1年)
乳 バルク体細胞/検定体細胞(比率)					76	89	出荷・廃棄の状況を推察(全牛検定時)
リニアスコア2以下(比率)					35	53	乳房の健康な牛の比率
質 1頭あたり乳房炎損失(頭/月)	<b>4</b>				1679	1131	乳房炎で低下した泌乳量×乳価(円)
除籍理由「乳房炎」の比率							乳房炎で淘汰した牛比率(過去1年の除籍)
空胎日数					134	152	受胎に要した日数平均(受胎牛のみ)
200日以上 空胎割合					42	21	長期不受胎牛の割合(空胎日数の集計外)
100日以上 未授精割合					19	7	不受胎牛のうち、授精できない牛の割合
繁 妊娠率	S. T				14	17	発情発見率×受胎率で計算する指標
発情発見率					42	41	授精回数・理論上の発情周期の数
殖 初回授精受胎率					27	31	繁殖機能の回復、授精開始時期が影響
2回目以降_受胎率	S.				21	25	授精タイミング、栄養充足などが影響
初回授精開始日数					81	88	初回受胎率と併せ、空胎日数への影響大
初産分娩月齢					23	25	未経産の繁殖管理、育成技術の指標
除籍率(乳用売却を除く)			4		11	20	生産効率の低下要因、除籍理由を確認
疾 分娩後60日内の死廃率					0.0	6.0	周産期トラブルの発生状況を示す
疾病分娩後60日内の死廃率病関死産発生率連50日以内_乳脂率5%以上(%)					13. 8	5. 6	牛群の産乳量、産子数の低下に繋がる
連 50日以内_乳脂率5%以上(%)					9	9	分娩前後の体脂肪動員が顕著な牛比率
100日以内_乳蛋白率2.8%以下(%)			<b>F</b>		13	16	
							28年01月検定

# カイゼン(改善)への取り組み

酪農に携わる色々な人たちが効率性の向上に がんばっています!!

